

2014年度第11回

～映像を作る側と見る側が築く映像祭～

きょうと聴覚障害者映像祭

プログラム



2月7日(土)

ホール 司会●岡本 かなり(目で聴くテレビ手話キャスター)

11:00 開会 あいさつ
映像作品コンクール
応募作品上映(1回目)

14:30 映像作品コンクール
応募作品上映(2回目)

17:00 終了

ロビー 全応募作品上映
「会場特別賞」投票

ろう映像作家による
ワークショップ(会議室)

①13:00～14:30

大館信広

「あなたにとって

好きな映画とは？」

②15:30～17:00

今井ミカ

「ろう映画祭は

なぜ必要なのか？」



2月8日(日)

ホール 司会●水本 博司(目で聴くテレビ手話キャスター)

10:00 特別企画 河井真也 講演
「映画プロデューサーの仕事」
コーディネーター:おおだて のぶひろ

13:00 ろう映像作家によるワークショップ③
早瀬憲太郎「映画ゆずり葉の未公開
シーンからひもとく映画の作り方」

14:30 審査発表・表彰式・審査員による講評

15:00 閉会

ロビー 全応募作品上映
「会場特別賞」投票

ろう映像作家による
ワークショップ(会議室)

④13:00～14:30

大館信広&今井ミカ

「海外のろう映画祭」

会場 龍谷大学 アバンティ響都ホール

主催 龍谷大学社会科学研究所労働統合・共生経営研究センター
第11回きょうと聴覚障害者映像祭 実行委員会

共催 映像教育研究会

協賛 社会福祉法人全国手話研修センター
特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構

特別協賛 公益財団法人京遊連社会福祉基金

後援 一般財団法人 全日本ろうあ連盟

■お願い■

ホール内飲食禁止
(ロビーでは飲み物可)

ご協力を
お願いします



ようこそ！第11回きょうと聴覚障害者映像祭へ！！

ごあいさつ

第11回きょうと聴覚障害者映像祭実行委員会

委員長 高田英一

第11回きょうと聴覚障害者映像祭へようこそお越しいただきました。本映像祭は、全国の聴覚障害者や聴覚障害者を含むグループが制作した映像作品のコンクール発表や、最前線で活躍されている映像作家や映画関係者をお招きし、さまざまな映像活動を紹介することを通して、手話やろう者に関わる映像表現の質を高め、聴覚障害の有無を超えて映像文化の共有と相互理解を深めることを目的としています。

この映像祭は、手話や字幕付き番組を制作・放映している特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構と手話の研究・普及等の事業を行う社会福祉法人全国手話研修センターにより、2004年から聴覚障害を持つ当事者による映像表現の可能性を探っていく試みとして始まりました。これまでの10年間に映像作品コンクールに寄せられた作品は94点にのぼり、この映像祭参加者の中から、現在映画監督や映像作家として活躍され、高い評価を受けている方々もいます。また、国内・海外のろう映画の紹介や映像作家の招聘、日本のろう映画の歴史を振り返るなどさまざまな企画を通して、参加者のみなさんとともに聴覚障害者にとっての映像文化とは何かを考えてきました。

ろう者には手話という目で見える言葉があり、映像はそれを大勢の人に伝える有効な手段です。本映像祭で、映像を通して制作者のメッセージを感じ取っていただけましたら幸いです。

最後に本映像祭開催にあたり、多大なるご協力をいただきました龍谷大学、映像教育研究会、公益財団法人京遊連社会福祉基金のみなさまに心からお礼を申し上げます。

さあみなさん、応募作品上映や特別企画やワークショップ、ロビーでは展示や全応募作品上映、「会場特別賞」投票などがあります。どうぞお楽しみください！

第11回映像作品コンクール◆審査員の紹介（五十音順）

池田 和生（元KBS京都放送ディレクター）

井上 泰治（映画監督、主な作品に「水戸黄門」ほか）

大館 信広（デフムービーエンターテインメントプロディア代表および映画監督）

高田 英一（特定非営利法人CS障害者放送統一機構理事長）

津田 正夫（元立命館大学教授、元NHKチーフプロデューサー）

早瀬 憲太郎（映画「ゆすり葉」「生命のことづけ」監督、「NHKみんなの手話」講師）

横地 由起子（京都シネマ支配人、映像教育研究会事務局長）

おねがい

- ・ホール内は飲食禁止です
- ・ロビーでの飲み物はOKです
- ・再入場時にはチケットの半券を受付で見せてください。

ロビー企画のご紹介

- ◆全応募作品上映コーナー
- ◆「会場特別賞」投票箱
- ◆河井真也氏作品展示コーナー
- ◆物販・展示コーナー

会議室のご案内

- ◆ワークショップ①②④会場

第11回映像作品コンクール 応募作品リスト

ホール 2月7日(土) 11:10 ~ 17:00・・・一次審査通過作品**1**~**5**の上映(2回)

ロビー 2月7日(土) 11:10 ~ 8日(日) 12:30まで・・・応募全作品の上映(3回)

1 「Walk Together -いっしょに歩こう」 制作者:サベルグろう学校 JHS-3 (20分00秒/2013年)



編集ソフト:ムービーメーカー
音声:あり

- 作品のテーマ ろう者と社会をつなげるため、社会の人々にきっかけをあたえる
- 作品の内容 健聴者の少年がろう者をばかにしてケンカに発展したが、通りかかった教員が仲裁。その後、ろう学校を訪れた少年はろう社会に興味を持ち、ろう少女とろう少年との三角関係に…少女はどちらを選ぶのか?
- 監督プロフィール 最初で最後の映画制作。ガーナで生徒と同僚に恵まれ、作品を完成することができました。
- コメント 本編は2時間ほどあり、この作品はダイジェスト版です。本編はユーチューブにて4分割で視聴可能です。

2 「頭を交換」 制作者:伊藤徹也(大阪府) (10分40秒/2014年)



編集ソフト:Adobe After Effects
音声:なし

- 作品のテーマ 自分とは何か、というようなこと。
- 作品の内容 その日、主人公は偏頭痛で仕事を休もうとしていた。そこに、怪しいチラシを持った男が現れ…。
- プロフィール 趣味で短編の映像作品、四コマ漫画の製作等を行っています。ホームページで囲碁のマンガも描いています(<http://www.asahi-net.or.jp/~hk6t-itu/igo>)。興味のある方、よかったですら見てみてください…。
- コメント 昔書いた二つの短編小説を、一つの作品として映像化しました。自分も頭痛持ちで、頭痛がきついときに思いついたアイデアが作品づくりのきっかけになりました。

3 「母の手」 制作者:長崎県聴覚障害者情報センター (13分00秒/2014年)



編集ソフト:グラスパレー エディウス Pro5
音声:あり

- 作品のテーマ 「母の手」
- 作品の内容 山下千代子さんは力強く優しい手をしている。その手から溢れる未就学ろうあ者独特の言葉は見る者を惹きつける魅力がある。千代子さんは住み慣れた故郷を離れ、娘の嫁ぎ先の長崎へ移った。新しい土地で地元の人との日々、元気で明るく過ごす千代子さんを追った。

4 「GHOSTORY~幽霊と失われた光~」 制作者:横浜市立ろう特別支援学校 (18分48秒/2014年)



編集ソフト:Windows Live Movie Maker
音声:なし

- 作品のテーマ コメディ・ホラー
- 作品の内容 あるろう学校に泥棒が入ってきた。学校にある“大切なもの”を泥棒が盗んだことで、真・暗な世界に。慌てる生徒たち8名。そこに幽霊が…。この映画にははところどころ笑いの要素が入っています。どうぞお楽しみください。
- プロフィール パソコンの知識もない映画の知識もない素人の女子高生ですが、メンバーたちと協力しあって作りました!文化祭の発表で盛り上げるために燃えました。
- コメント 新たに一年生も加わり、にぎやかになった映画同好会。もっとも苦労したことは、ストーリー構成と台本づくりのための話し合いでした。ハプニングもありましたが、無事完成しました。

5 「つながる more more」 制作者:聲宝(京都府) (20分00秒/2014年)



編集ソフト:コーレル ビデオスタジオ 12
音声:あり

- 作品のテーマ 自分らしい生き方、仲間とのつながり
- 作品の内容 直樹は涼子との結婚を望んでいたが、彼女の両親に反対されていた。やっと結婚を許されたものの、義父から聴覚障害2級を取るようと言われる。3級の直樹は、再検査をすすめる仲間と相談する。果して直樹の決断は?!
- 監督プロフィール 2008年「手話刑事」で監督デビュー以降、毎年1作品のペースで新作を撮影。「サテンの女」、「わる柿」、「紡ぐ」、昨年は「御室物語」を制作。
- コメント 仲間の体験をインタビューして、シナリオを作成。取材した情報も盛り込んで完成したシナリオは不評で、第5稿まで修正しました。テーマはシンプルですが、難しい内容に挑戦しました。

第11回映像作品コンクール 応募作品リスト(つづき)

6 「キヨコの奇妙な1日～Kiyoko's Bizarre day～」 制作者: ^{キヨコズ ビザール デイ} 吉田紀代子(福井県) (7分42秒/2014年)



■編集ソフト: Adobe Premiere Pro CC, After Effects CC
■音声: あり

- 作品のテーマ ありえない非日常をコミカルに描いてみました。
- 作品の内容 毎日を退屈に暮らしていた主人公の非日常体験ストーリー。悪者を追っかけたり、闘ったり、果たして結末はいかに？
- 監督プロフィール 青山好一初作品となります。まったくの素人です。
- コメント 初めての作品ということもあり、スタッフ全員で楽しみながら撮影できました。その楽しさが伝わればいいなと思います。

7 「約束」 制作者: ^{まつたにたくや} 松谷琢也(奈良県) (12分00秒/2013年)



■音声: なし

- 作品のテーマ 異色もの、原爆の怖さを伝えよう！
- 作品の内容 おばあちゃんとの約束とは？50年前の約束とは？今も昔も変わらぬ愛
- プロフィール 映画は50作品あります。1990年「毎日中学生新聞」4コママンガデビュー。現在てんてるコミックで「塾デフ」連載中。単行本1～3巻 Amazon 発売中。
- コメント 戦争を知らない子どもがふえています。原爆の怖さを伝えたくて、広島で撮影しました。

8 「ろう者が戦争の時代を語る」 制作者: 千葉聴覚障害者センター (20分00秒/2014年)



■編集ソフト: Thomson Canopus EDIUS Pro5
■音声: あり

- 作品のテーマ 厳しい戦争時代を生き抜いた3人のろう者が、実体験を後世に伝える
- 作品の内容 空襲に遭い、あたり一面が焼け野原になった光景、目の前で処刑されたアメリカ人捕虜、米軍機に狙撃された体験、疎開先の広島で原爆が投下された状況などを、3人のろう者が語ります。
- プロフィール 2013年度主な映像制作: DVD「手話は、地域バリアを越えて いつでも&どこでも...」、DVD「平成24年度 房総アラカルト」、DVD「新・手話通訳システム」、番組「つつうらうら～潮干狩りの街(木更津他)～」、その他ニュース映像多数。
- コメント 戦時下を生き抜いたろう者でなければ伝えられない生々しい体験の数々をご覧ください。

9 「十六学童の慰霊碑が語ること～岡山雙学校寄宿舎火災から得た教訓～」 制作者: 岡山県聴覚障害者センター(19分49秒/2014年)



■編集ソフト: grass valley EDIUS Pro5
■音声: なし

- 作品のテーマ 防災
- 作品の内容 昭和25年12月に起きた悲惨な岡山雙学校寄宿舎火災。火災の難を逃れ、毎年「偲ぶ金」に出席されている方や、火災直後、遺体の搬送や捜査など、この痛ましい経験をされた方々のお話を映像に残しました。
- 監督プロフィール 平成26年4月1日から当センターに採用され、今年最初に手がけた作品です。前任者が撮影した作品を編集しました。今後がんばりたいと考えています。
- コメント 当事者が高齢化するなか、悲惨な火災事故を風化させないためにも、多くの方々に見ていただきたいです。

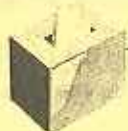
10 「URASHIMA」 制作者: ^{ウラシマ} 富山県聴覚障害者協会 ^{とみろうい} 富彗映 (18分27秒/2014年)



■編集ソフト: grass Valley EDIUS NEO2
■音声: なし

- 作品のテーマ 3DCG フィールドで2Dアニメーション。コメディアニメ。
- 作品の内容 「浦島太郎」のシナリオを富彗映がアレンジして現代風にしました。風景、人物は富山大学の手話サークルの4人が作成したので個性のあるかわいいキャラクターかと思えます。
- プロフィール 結婚式の余興ムービーの作成、富山PRムービーの作成、映画の作成などを行っています。まだ未熟ですが、がんばりたいと思いますので、どうぞ暖かく見守ってください。映像、映画、思い出アルバムなど依頼があれば、メール・FAXで受け付けます。県外でもOK。
- コメント 過去から現在に至るときをどのように表現すればいいのかを話し合った結果、富山県の文化の集いの参加条件が手話に関する事だったので、筆者の歴史の流れを表現しました。

お役立ち
お役立ち
お役立ち



応募全作品対象の「会場特別賞」 作品を見て投票しよう

2月8日(日)午後1:00までに、ロビー上映場所の箱に投票してください。
2月8日(日)午後2:30からの表彰式で結果を発表します！！



ホール 11:00~13:10 14:30~17:00(同じ内容を2回上映)

映像作品コンクール

応募作品上映(一次審査通過作品)

★作品の詳細(紹介)は別紙のリストをごらんください。

<1回目上映>

- 11:20 Walk Together -いっしょに歩こう / サベルグろう学校JHS-3
- 11:42 頭を交換 / 伊藤徹也 (大阪府)
- 12:10 母の手 / 長崎県聴覚障害者情報センター
- 12:25 GHOSTORY~幽霊と失われた光~ / 横浜市立ろう特別支援学校
- 12:45 つながる more more / 聖宝 (京都府)

<2回目上映>

- 14:40 Walk Together -いっしょに歩こう / サベルグろう学校JHS-3
- 15:05 頭を交換 / 伊藤徹也 (大阪府)
- 15:40 母の手 / 長崎県聴覚障害者情報センター
- 15:55 GHOSTORY~幽霊と失われた光~ / 横浜市立ろう特別支援学校
- 16:30 つながる more more / 聖宝 (京都府)

ロビー 11:10~14:00 14:00~17:00(同じ内容を2回上映)

映像作品コンクール

応募作品上映(全応募作品)

★作品の詳細(紹介)は別紙のリストをごらんください。

★上映時間は、ロビーの掲示をごらんください。



ろう映像作家によるワークショップ① 会議室 13:00~14:30 (受付 12:50~)

(事前申し込み制)

大舘信広 「あなたにとって好きな映画とは？」

おおだてのぶひろ:1959年7月茨城県生まれ、神奈川県横浜市在住。独学でこれまで代表作「迂路」(監督・2006年トロント国際ろう映画祭最優秀賞受賞)「寄りびと」など20本近くの作品を手掛けており、欧米の映画祭に多く参加している。目で聴くテレビのディレクターで「おおだて監督のコーナー」の番組がある。現在、日仏合同の新作映画を製作中。ろう映画制作グループ「デフムービーエンターテインメントプロディア」代表および映画監督。



ろう映像作家によるワークショップ② 会議室 15:30~17:00 (受付 15:20~)

(事前申し込み制)

今井ミカ 「ろう映画祭はなぜ必要なのか？」

いまいみか:1988年群馬県生まれ。和光大学表現学部総合文化学科映像コース卒業後、香港に留学し、手話言語学およびろう者学研究センターの研究生および学生を修了する。現在、手話ビジネスのNPO法人シュアールの手話エンターテインメント事業部ディレクターおよび自主ろう映画制作のEYES FILM(アイズフィルム)団体の代表として映像制作を中心に活動している。代表作品に「絆~きずな~」(2006年)、「失墜者」(2009年)、「あだ名ゲーム」(2014年)など。



2015

2/8

[日]

特別企画 ホール 10:00~12:00

河井真也 講演「映画プロデューサーの仕事」



かわいしんや: 1958 年生まれ。慶応大学卒業後 1981 年フジテレビに入社。「南極物語」「チン・ピラ」などで製作補。1987 年「私をスキーに連れてって」でプロデューサーデビューし、ホイチョイムービー3 部作「彼女が水着にきがえたら」「波の数だけ抱きしめて」を製作。87 年に邦画と洋画を交互に公開する劇場「シネスイッチ銀座」を設立。「木村家の人びと」をスタートに 7 本の邦画の製作と「ニュー・シネマ・パラダイス」などの単館ヒット作を送り出す。90 年、自らの体験談を映画化した「病院へ行こう」「病は気から～病院へ行こう 2」を製作。94 年岩井俊二監督をデビューさせ「Love Letter」や「スワロウテイル」などをプロデュース。「リング」「らせん」などのメジャー作品から、カンヌ映画祭監督賞のエドワード・ヤン監督の「ヤンヤン・夏の思い出」、日韓合作「力道山」、短編プロジェクトの「Jam Films」シリーズをはじめ、数多くの映画を製作。近年ではベルリン映画祭カリガリ賞・国際批評家連盟賞の園子温監督の「愛のむきだし」、ドキュメンタリー映画「SOUL RED 松田優作」などがある。フジテレビゼネラルプロデューサーを経て、現在は日本映画衛星放送に所属。

ろう映像作家によるワークショップ③ ホール 13:00~14:30

早瀬憲太郎

「映画ゆずり葉の未公開シーンからひもとく映画の作り方」



はやせけんたろう: 奈良県生まれ。1998 年ろう児対象の学習塾「早瀬道場」を設立。2004 年大塚ろう学校の生徒とともに制作した「あきらめないで」が第 1 回本映像祭で聴覚障害者映像大賞を受賞。2005 年目で聴くテレビ「わんぱく子供放送局」制作に関わる。2006 年「迂路(うろ)」(制作・脚本)がトロント国際ろう映画祭最優秀賞を受賞。2009 年映画「ゆずり葉-君もまた次のきみへ-」監督。2013 年「生命のことづけ～死亡率2倍 障害者の 3.11」監督。2007 年から NHK「みんなの手話」講師。

ろう映像作家によるワークショップ④

会議室 13:00~14:30 (受付 15:20~)

(事前申し込み制)

大館信広 & 今井ミカ

「海外のろう映画祭」



映像作品コンクール審査発表、表彰式、講評 ホール 14:30~15:00

ロビー 9:40~12:30 全応募作品上映

2/7(土)に参加されなかった方にもご覧いただけます

■アンケートにご協力ください■

映像祭はいかがでしたか？
より充実した映像祭を目指して、今後の参考にさせていただきます。
後日に FAX でのご回答もお待ちしております。
ぜひお願いします！